



笑顔で接客する生徒たち

# 高校生笑顔で合同販売

## デパートゆにっと井上で始まる

時（最終日は4時）、  
入場無料。

（石川鮎美）

商業を学ぶ高校生たちが企画、開発した商品を販売する「第6回全国高校生合同販売『デパートゆにっと』」（県商業教育研究会主催）が17日、松本市深志2の井上で始まった。県内9校、県外2校が参加し、生徒たちが元気のいい声で接客している。19日まで、各校のブースには、地元野菜や果物などを原材料に使って企業と開発した菓子や総菜など計約100点が並ぶ。中信地区からは穂高商業高校と南安曇農業高校のほか、今年初めて蘇南高校が参加している。生徒たちは「いらっしやいませ」「試食はいかがですか」と来店客に声を掛け、商品について丁寧に説明している。

蘇南高校は初日に一部の商品が仕入れられないアクシデントがあったが、大きな混乱はなく、総合学科2年の原菜々花さん（16）は「みんなで商品の良さをPRして完売を目指したい」と意気込んでいた。

会場には松本大学の学生団体「ゆにまる」による喫茶・イートインコーナーもある。時間は午前10時～午後6